

なぜイエス・キリストだけ？

キリスト教が他の宗教と異なる点は何でしょうか？

新約聖書『テモテへの手紙一』の第1章第15節は「キリスト・イエスは、罪人を救うために世に来られた、という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します。わたしは、その罪人の中で最たる者です。」と述べています。イエスへの信仰が、なぜ世界のその他すべての信仰制度と異なるのかを、この第15節は示しています。

「キリスト・イエスは、罪人を救うために世に来られた」のです。自分自身で自分を救う方法を罪人に教えるためではないのです。

人は神様の裁きに直面している墮天した罪人である。このことを人は自然に知っています、そしてこのために世界が始まって以来、人は次々に宗教をつくり続けています。しかし、人の救済方法は、神の救済方法と異なります。救い主イエスに目を向ける代わりに、人は、いろいろな人生哲学、規則、法、道徳を守ることを通して自分を救おうとしがちです。

言い換えると、人は自分自身を罪人としてみなしていますが、罪人を救うために生まれた救い主を必要とする罪人ではなく、むしろ様々な人生哲学と信仰制度によって自分で自分の救済を達成することができる罪人としてみなしているのです。

アダムとイブがエデンの園で罪を犯したあとのことを、我々は『創世記』第3章第7節と第8節で読むことができます。「二人の目は開け、自分たちが裸であることを知り、二人はいちじくの葉をつづり合わせ、腰を覆うものとした。その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れた。」アダムとイブは、彼らが罪を犯したということを全くよく知っていました。しかし、神に罪をかばってもらい救済を求める代わりに、二人は、イチジクの葉という外面で覆うなどと、自らの罪を直そうと決心をしてしまったのです。そのうえさらに、神に向かって赦しを求めるよりむしろ、二人は神から隠れる決心をしてしまいました。

人は、それ以来、ずっとおんなじことをしています。

今日におけるイチジクの葉は、仏教、カトリック教、ヒンズー教、イスラム教、ユダヤ教および、キリスト教のうちにも洗礼儀式、教会会員制度、その他の宗教労働活動を義務とさせるすべての形態に共通しています。上記に加えて、我々は無神論、環境主義、進化論、自然主義も

含めてもいいと思います。これらの信仰システムの全ては、人類が誤りをしていることを分かっているものの、イエス・キリスト以外の手段によってその誤りを直そうとしてしまいます。

イエス・キリストは、罪人を救うために生まれてきました。自らの努力と労働を通じて自らの救済を達成することができる人々や善人を救うためにイエス・キリストが生まれてきたものではありません。この種の人々は、救い主を必要としないのです。

真の罪人である人とは、神を満足させることができない人であり、自分自身の救済を果たすことができない人です。だからこそ、人は救い主イエスを必要とするのです。イエスは、十字架で私たちの救済を果たしました。イエスの流された血は神を満足させました。そして、神は死からイエスを復活させることによってそのことを証明しました。その結果、今現在、人は十字架で果たされたイエスの務めに信頼を置くたびに、人は救われるのです。救い出され、すべての罪を許されます。救いは、私たち自身の努力や労働とは無関係です。救いは、かつて十字架ですべてのために果たされた神の贈り物です。

質問します。あなたは、あなた個人の救い主としてのイエスを信頼していますか？

もしあなたがそうであるならば、神に感謝し、イエスを、イエスの愛と救いをたたえてください。あなたの救い主を楽しんで味わってください。あなたに向けたイエスの愛を大いに喜んでください。しかしあなたが、もしイエスをまだ信頼していないならば、何があなたの思いを止めているのでしょうか？自尊心に執着する理由などないはずで、不安がる理由もないはずで、神の存在から逃げたアダム、自分自身で救いの道をつくろうとしたアダムのようにはならないでください。あなたは、何も心配する必要はありません。神は、あなたをとまどわせるつもりはないのです。あなたは行った罪をつぐなう必要はありません。人間の前に罪を告白する必要はありません。苦行をする必要はありません。人生を改める約束をする必要はありません。洗礼を施してもらう必要もありません。教会に入会する必要さえないのです。「私を信じる者は永遠の命を得ている」とイエスは言っていたのです（『ヨハネによる福音書』（欽定訳）第6章第47節）。

まさに今、自分の心で信じてよいのです。誰かに言う必要さえありません。イエスは、完璧な救い主です。イエスの愛は無条件です。あなたがイエスの平和と自由を楽しんで味わうことができるように、イエスはあなたの暮らしの中に働きかけることでしょう。イエスは、あなたに何も要求しません。あなたの全ての罪はイエスの十字架のために許されるのです。イエス・キリストを信じればイエスはあなたの心に働きかけ、あなたの心の中に住みます。宗教にするつもりはないのです。このことは、許しにまつわることなのです。神と共にいる平和に関することなのです。恐れなしに自然に生きる愛するための自由と力なのです。

あなたに神の恵みがありますように。